

新聞年鑑2012

## オセアニア

### オーストラリア

2010年6月、3年間務めたK・ラッドに代わって労働党党首の座に就いたジュリアン・ギラードが第27代首相（初の女性首相）に就任した。ところが8月に実施した総選挙の結果は、英国、日本同様、与野党とも過半数に届かず、一時は宙ぶらりん状態（ハング・パラメント）となる。かろうじて労働党政権が続くことになり、ラッド元首相は外相に横滑りした。

主要日刊紙とその発行部数は以下のとおり。

#### 【マードック系】

| 紙名(地域)           | 部数：上段=平日版<br>下段=土曜版 |
|------------------|---------------------|
| ジ・オーストラリアン(全国)   | 13万5000<br>30万      |
| デーリー・テレグラフ(シドニー) | 37万4000<br>34万      |
| ヘラルド・サン(メルボルン)   | 51万6000<br>50万4000  |
| クーリヤ・メール(ブリスベーン) | 21万7000<br>29万7000  |
| アドバタイザー(アデレード)   | 18万<br>24万5000      |
| マーキュリー(ホバート)     | 4万5000<br>6万1000    |
| NTニュース(ダーウィン)    | 2万1000<br>3万2000    |

#### 【フェアファックス系】

|                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| オーストラリアン・フィナンシャル・レビュー(全国) | 7万1000<br>7万8000   |
| シドニー・モーニング・ヘラルド(シドニー)     | 20万7000<br>35万9000 |
| ジ・エイジ(メルボルン)              | 19万7000<br>27万7000 |

※10年6月期(APC Report 2009~10)

内部告発サイト「ウィキリークス」とその創設者であるオーストラリア出身のジュリアン・アサンジ氏については、オーストラリア国内でも賛否両論が続く。10年12月にはシドニーやブリスベーンで彼を支持する集会が開かれる一方、日豪間の捕鯨問題で、国際的には強硬路線を貫く豪政府が水面下で対日妥協案があったことが暴露された。当時のラッド政権が閣内意見の一致をみないまま国際裁判所への提訴に踏み切ったのは、支持率回復をねらったものとみられている。オーストラリアの主要紙は「ウィキリークスはメディアだ」と擁護する書簡をギラード首相に送っている。

## 100—外国新聞の概況

興味深いのはアサンジ氏が10年12月8日付ジ・オーストラリアンに載せた論考だ。第一次世界大戦中、英国政府が無駄死にに等しい戦いを続けるオーストラリア軍の戦況を隠そうとした「ガリボリの戦い」で、マードック氏の父キース・アーサー・マードック氏が事実を暴露し、壊滅的な被害を避けることができたことを引用したものだ。言うまでもなく公開することにより世論が動かされた事実を主張している。

11年2月に入り、西オーストラリア州パースでウェスト・オーストラリアン(平日19万6000部、土曜日版34万4000部)を発行する西オーストラリア新聞社(WAN)が20億豪ドル(約1700億円)で、三大ネットワークのひとつチャンネル・セブンに逆買収(数年前にセブンのK・ストークス氏がWAN買収劇を企て彼の勢力下にあった)を仕掛けた結果、4月にセブン=ウエスト・メディアが誕生。オーストラリア最大のマルチプラットフォーム・グループとなった。

セブン=ウエストはそのほか1地方日刊紙、24週刊紙、17コミュニティ紙、テレビ(デジタル放送の7two/7mateを含む)、FM放送、雑誌(Pacific Magazines=Better Homes and Gardens:38万部やNew Idea:31万部などを発行。ACP社と雑誌市場を二分する勢力)、そして検索サイトの大手Yahoo!7などを傘下にもつ。

首都キャンベラを除く州都5大都市のネットシェアはチャンネル・セブンがトップ(28.7%)、1ポイント差でナインが続くが、都市別ではアデレード、パースで5ポイント差もあり、セブンが西側、ナインが東側で強い(10年)。

### ニュージーランド

11年3月11日の東日本大震災が起こる数週間前に、南島のクライストチャーチを襲った大地震で、地元の日刊紙ザ・プレスと放送局カンタベリー-TVの本社が崩れた。後者では日本人留学生に多数の死者を出し、放送も休止状態に陥ったが、ザ・プレスは編集拠点を10キロ離れた印刷工場に移転し、震災翌日の2月23日「最悪の日」(Our worst day)の1面見出しで発行を続けた。

ザ・プレス(8万1000部)は1861年創刊で、その150周年にあたる年の不幸であった。平日23万人の読者をもつ。首都ウェリントンのドミニオン・プレス(8万4000部)とともに、オーストラリアを拠点とするフェアファックス・メディアの傘下にある。同社は、ニュージーランドで78紙、25雑誌、19デジタルメディアを擁する同国最大のメディア企業である。

※発行部数は10年6~12月期(ABC)

### 上智大学文学部教授

鈴木雄雅(すずき・ゆうが)